



水稻の白未熟粒（上）は整粒（下）と比べ白色で不透明な部分をもつ。白未熟粒は白色不透明部分の位置により、乳白粒、心白粒、基部未熟粒、腹白未熟粒、背未熟粒に分類される。



胴割粒（内部に割れを生じており、光を当てると筋が見える）



発芽した小麦の穂。温暖化により穂発芽は増加した地域と減少した地域がある。（撮影：中央農業総合研究センター・中園 江）



中肋突出による結球不良を起こしたレタス（上）と正常なレタス（右）。（撮影：野菜茶業研究所・岡田邦彦）



リンゴは高温で生育すると着色不良となる。



低温不足で発芽不良を起こした加温栽培のナシ（手前）。奥は正常に発芽した樹。

熱帯地域から侵入したカンキツグリーニング病により落葉したシークワサー。果実が残っているが樹はこの後に枯死。





熱帯地域から侵入したフタテンチビヨコバイの成虫（左）とその加害によるトウモロコシのワラビー萎縮症の症状（右）。（撮影：九州沖縄農業研究センター・松村正哉）